

12 アブラハヤ (コイ科)

*Phoxinus lagowskii steindachneri*

兵庫県ランク:C

環境省ランク:-

種の概要

全長10 c m程度。河川の中流域に連なる、湧水を源とする夏もひんやりした水路に生息する。底生動物や付着藻類、落下昆虫等を食べる雑食性。産卵期は初夏で、砂礫底で集団産卵する。幼魚は浅く流れの緩やかな所で群れて生活し、成長すると淵や淀みに移動する。福井県、及び岡山県以东の本州に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館 (撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では瀬戸内海側の揖保川、加古川、猪名川水系から確認されている。日本海側の円山川、矢田川水系にも分布するが、移入された個体群だと考えられる。

保護上の留意点

近縁種のタカハヤよりも下流に生息する。冷たい湧水が供給された比較的河床勾配の緩やかな水路等に生息する。湧水や伏流水、河畔林といった夏季の水温上昇を抑える自然の仕組みを潰さないことが肝要である。

県内分布

川西市、加古川市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加東市、姫路市、宍粟市、たつの市、太子町、豊岡市、養父市、香美町、丹波市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

|     |    |   |
|-----|----|---|
| 人為性 | 激減 |   |
|     | 環境 |   |
|     | 捕獲 |   |
|     | 遺伝 |   |
| 特殊性 | 特殊 |   |
|     | 孤立 |   |
| 学術性 | 極限 |   |
|     | 限界 | △ |
|     | 希少 |   |

